

2020/11/20

Web交流プログラム「DOTS」 開催2回目

実施概要

日時：2020年11月20日(木) 16:15～17:00

場所：周南市立富田中学校・音楽室

内容：① 英語を使った自己紹介(新メンバーのみ)

② 委員会活動についての説明(整備・保健・給食委員会の活動紹介)

参加者：富田中学校 生徒会執行部 13名

カプタ小学校 8年生 5名

動画：当日の様子



参加生徒

富田中学校

前回参加した3年生の執行部メンバーに加え、2年生の2名が新たに参加。



カプタ小学校

前回参加している日本の中学2年生にあたる8年生のうち5名が参加。



事前打ち合わせ(日本側)

実際にMaruuiとZoom接続を行う前に、「Maruuiのカプタ小学校で実践できそうな委員会活動」をテーマに生徒同士でディスカッション。前回の交流内容で知ることのできたMaruuiの学校環境のことも考慮しながら、現地で実践できそうな委員会活動の取り組みについて話し合いを行った。また、その説明を生徒自らが英語で紹介できるよう準備した。

交流内容

新メンバーによる自己紹介

互いを知り、仲を深めることを目的に実施。

「名前、好きなもの」をテーマに一人ずつカメラの前に座り、相手に向かって自己紹介をしていく。



- ・富田中学校からは2年生の2名が自己紹介を行った。緊張しながら発表する2年生に対して、前回参加していた3年生が「ゆっくりしゃべるといいよ」「名前は下の名前だけを伝えたほうがわかりやすいよ」などのアドバイスをしてくれたことにより、とてもスムーズなやりとりへとつながった。
- ・カプタ小学校の生徒も改めて自己紹介をしてくれた際、前回の交流から約1か月が経過していたにも関わらず互いの名前や顔を覚えていたことから、とても和やかな雰囲気での交流をはじめることができた。
- ・2回目という慣れもあることから、以前よりも富中生のリアクションが良くなっていた。大きくうなずいてリアクションをしていたり、ジェスチャーを使ったりと、笑顔でやりとりする場面が多くなった印象を受けた。

委員会活動の紹介

カプタ小学校で生徒が主体となった体制構築を行うために、まずは委員会活動として学校に貢献できる活動内容を富中生から提案。



富中生が紹介した委員会活動は、以下の3つ。

整備委員会

- ・学校環境を良くするために、富田中学校では整備委員会を中心となって校内の緑化活動に力を入れていることを生徒自らが英語で共有。具体的には、学校の花壇に花を植え、教室内に植物を取り入れる活動を紹介。
- ・カプタ小学校の生徒から、「なぜ、学校に植物を植える必要があると思う?」という質問が投げかけられた。実際に、カプタ小学校でも花を植える活動を行っているからこそ、なぜ日本でも同じ活動をしているのか疑問に感じたようだった。
- ・その質問に対し、整備委員長は「植物には空気をキレイにする効果があり、酸素を生み出してくれるから」と説明。地球規模で問題になっている森林伐採や温暖化問題の例を挙げてくれた。委員会活動の紹介からSDGsをテーマに議論が深められるやりとりへとつながった。

保健委員会

- ・全校生徒の健康状態を保つために、学校の各手洗い場に設置してある石鹸や消毒液の補充をし、各クラスの朝礼で健康観察を行うことが主な活動内容であると説明。
- ・コロナの影響から衛生環境の向上に関心を抱くようになったカプタ小の生徒や先生から、その活動をどうやれば生徒主体で行えるかなど、様々な質問があがっていた。また、それらのやりとりをメモに取りながら興味津々な様子で話を聞いてくれた。
- ・交流後にカプタ小の先生とのやりとりの中で、「手洗いの方法や指導の仕方」について富中で実際に取り組んでいることがあれば、ぜひ教えてほしいとの要望があった。

給食委員会

- ・給食倉庫の整理整頓や消毒の徹底などを行っていることを説明。
- ・カプタ小学校では、給食として「バラ（お粥）」が休み時間に生徒に配給されるという話を聞くことができた。また、その給食は日本のNGOによって支援が行われていると説明された。

環境整備

	日本	マラウイ
アプリケーション	Zoom	Zoom
デバイス	ColorbathのPC (Mac) ※モバイルWi-Fiに対応できるPCとして使用	教員用パソコン (Mac Book)
インターネット	モバイルWi-Fiを使用 前日に学校のネット環境工事が行われたことによって、有線での使用ができなかった。	教員のスマホからテザリング ネット速度：安定
モニター	大型TVモニター	なし。パソコン画面のみで対応
カメラ・マイク	PC内蔵 (Mac)	Macに内蔵されている

今回の交流では、前日にインターネット環境の工事が行われていたことによって学校のインターネット（有線）が使用できず、急遽、Colorbathが持参していたモバイルWi-Fiを使用することになった。それによって、前回よりもネット回線スピードが弱くなり、マラウイ側の音声や映像が途切れるということが多々発生した。交流後に、ネットスピードが遅かったのは日本側だと説明すると、生徒たちはとても驚いているようだった。先進国だからネットスピードが速いとは限らず、その分、Wi-Fiのユーザー数や接続回線、建物やネットを遮断する障害物が多く存在している日本だからこそインターネットスピードの速度を保ちづらくなっている現状を理解することにつながった。

参加した生徒の感想（一部抜粋）

- ・今回は少し踏み込んだ内容を説明したけど、「それおもしろい」といってもらえたので嬉しかった。英語も知っている単語を言えたので良かった。
- ・前回よりも電波があまり良くなかったので、マラウイの環境が悪いのかなと思ったら、日本が原因だったことに驚きました。日本が劣っているところがあることに気づきました。
- ・言葉がうまく通じなくても、笑顔で堂々と話すことで、必ずなにか気持ちは伝わるということを学んだ。
- ・花を植えるプロジェクトを相手の国がやってくれていて嬉しかった。環境をより良くしたいという気持ちはマラウイの生徒たちも持っているのだと気づき、感動した。
- ・2回目でお互いに慣れてきたことによって、反応が瞬時に自然にでてきた。使う言語が違うにも関わらず、心で繋がることができ嬉しかった。
- ・マラウイで実践している委員会活動を聞いてみたい。今回とても緊張したから、次回は緊張感に負けず、挑戦したい。次回がとても楽しみ。

これからの交流にむけて

次回の交流

- ・日程：2021年 1月15日（金）16:15 ～ 17:00（予定）
- ・参加生徒：新生徒会執行部（富田中学校）、6～7年生の生徒（カプタ小学校）
- ・交流内容：①自己紹介 ②実践した取り組みの紹介（マラウイ）